

## 動 向 調 査

令和 2 年 4 月～6 月期

●調査依頼 5,117 社 ●有効回答企業 1,789 社

信用保証をご利用いただいている皆さまの景況・金融動向を把握するために、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「信用保証利用企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。ここでは東京都内信用保証利用企業の令和 2 年 4 月～6 月期の調査結果についてお知らせします。

## 景気動向指数DIとは

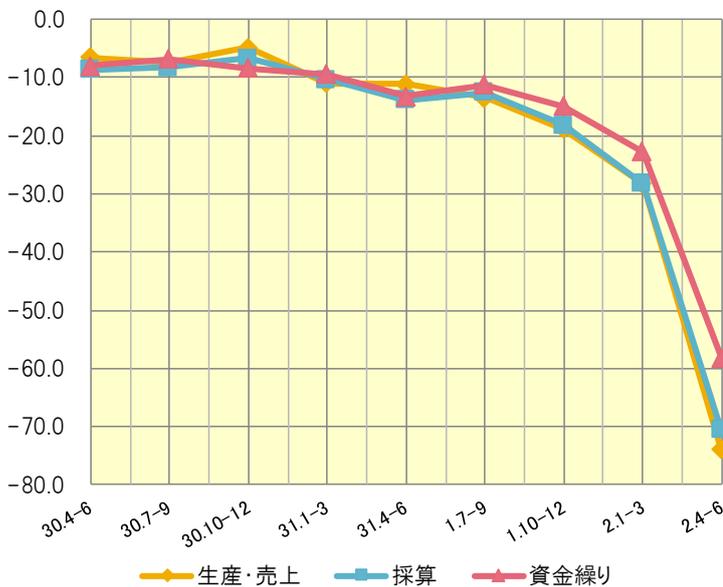
景気動向指数DIとは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節調整値」を利用しています。この季節調整値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

## [概 況]

都内信用保証利用企業の景況感は大幅に悪化。

先行きについても景況感・資金繰りとも大幅なマイナス値となる見込み。

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



## ◎総合

今期(令和 2 年 4 月～6 月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-45.7 ポイントの▲74.0、「採算」が前期比-42.2 ポイントの▲70.5、「資金繰り」が前期比-35.5 ポイントの▲58.2 となり、「生産・売上」、「採算」、「資金繰り」の全て項目について大幅に悪化した。

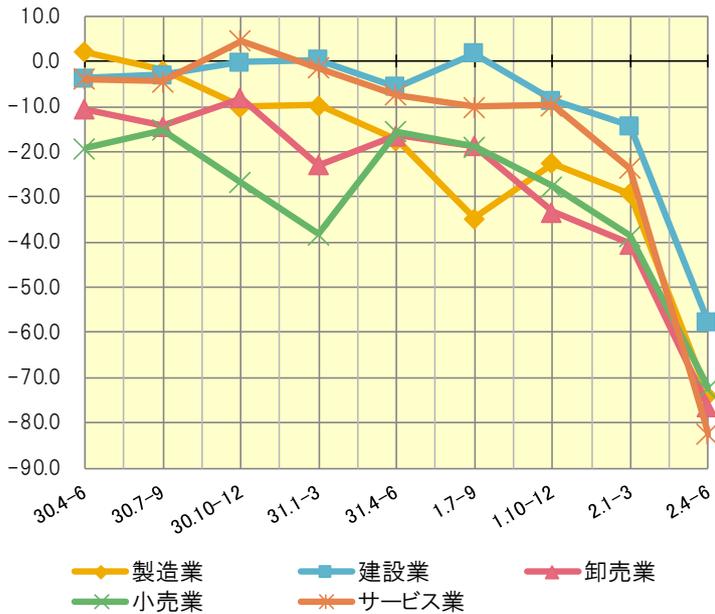
今後 3 か月の予測値(来期予測)は、「生産・売上」、「採算」、「資金繰り」の全ての項目において大幅なマイナス値予測だが、マイナス幅は縮小する予測となっている。

「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

	生産・売上	採算	資金繰り
前期末予測値	-28.2	-27.5	-27.7
今期実績	-74.0	-70.5	-58.2
来期予測	-37.4	-41.0	-39.5

## ●生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上 DI(総合値)は▲74.0(前期比-45.7ポイント)となり、大幅に悪化した。

業種別では、サービス業が▲82.5、卸売業が▲76.5、製造業が▲74.1、小売業が▲72.5、建設業が▲57.8と全ての業種で大幅に悪化した。

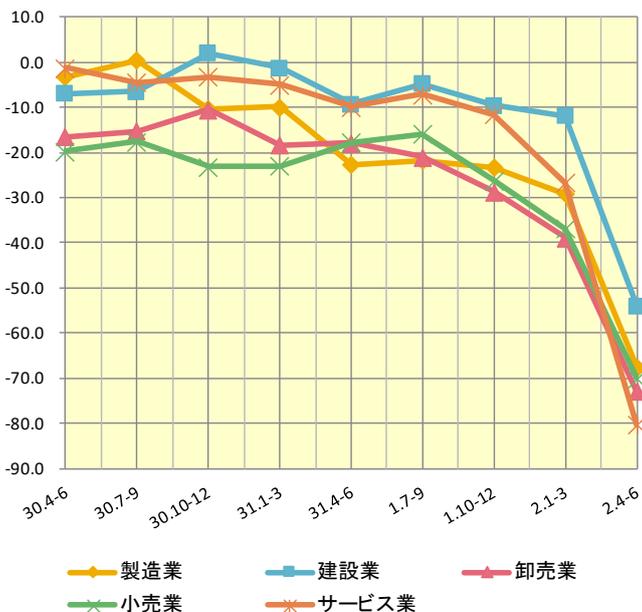
来期も全ての業種において大幅なマイナス値予測だが、マイナス幅は縮小する予測となっている。

業種別「生産・売上」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-36.4	-14.5	-35.3	-36.9	-24.7	-28.2
今期実績	-74.1	-57.8	-76.5	-72.5	-82.5	-74.0
来期予測	-42.2	-34.7	-39.7	-39.1	-35.5	-37.4

## ●採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算 DI(総合値)は▲70.5(前期比-42.2ポイント)と、大幅に悪化した。

業種別では、サービス業が▲80.4、卸売業が▲72.9、小売業が▲70.0、製造業が▲67.5、建設業が▲54.0と全ての業種で大幅に悪化した。

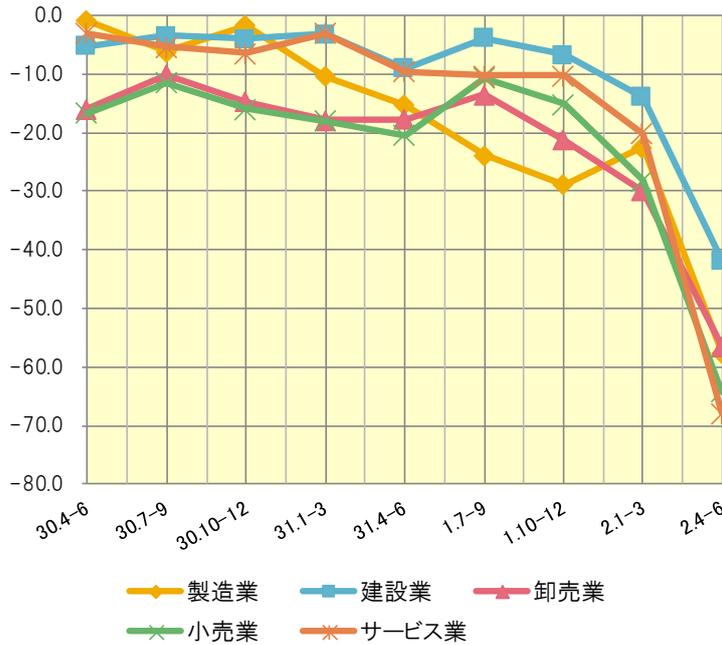
来期も全ての業種において大幅なマイナス値予測だが、マイナス幅は縮小する予測となっている。

業種別「採算」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-29.4	-14.8	-38.9	-37.1	-21.3	-27.5
今期実績	-67.5	-54.0	-72.9	-70.0	-80.4	-70.5
来期予測	-47.3	-38.5	-42.4	-39.9	-39.9	-41.0

# ● 資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰り DI(総合値)は▲58.2(前期比-35.5ポイント)と、大幅に悪化した。

業種別では、サービス業が▲67.9、小売業が▲64.2、製造業が▲57.5、卸売業が▲56.5、建設業が▲41.7と全ての業種で大幅に悪化した。

来期も全ての業種において大幅なマイナス値予測だが、マイナス幅は縮小する予測となっている。

業種別「資金繰り」実績・予測値

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合
前期末予測値	-28.3	-19.0	-35.6	-33.6	-24.7	-27.7
今期実績	-57.5	-41.7	-56.5	-64.2	-67.9	-58.2
来期予測	-46.1	-36.9	-37.8	-39.8	-39.5	-39.5